

事前評価調書（事業費 10 億円未満）

事業名	都市計画道路 豊中岸部線																								
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 街路建設グループ(連絡先 06-6944-9280)																								
事業箇所	大阪府吹田市岸部中三丁目～岸部中四丁目地内																								
目的	<p>都市計画道路豊中岸部線は、大阪北部の道路交通ネットワークを形成する路線として計画され、豊中市の府道大阪池田線から吹田市中央部を経由し、大阪市界までを結ぶ延長約 10.5km の幹線道路である。</p> <p>当該区間（府道大阪高槻京都線の岸部北交差点～岸部地下道 L=262m）は、現道の吹田市道岸部中内本町線が供用しているが、吹田操車場跡地のまちづくり計画が進められており、今後、周辺の交通が増大することが想定されるため、道路整備への期待が高まっている。</p> <p>【目的①：交通の円滑化】 広域的な幹線道路である府道大阪高槻京都線との交差点は朝夕のラッシュ時には長い渋滞が発生し、地域の社会・経済活動などに支障をきたしている。また、吹田操車場跡地のまちづくりにより発生・集中する交通により、今後、渋滞が増えることも危惧される。今回の整備は、交差点の渋滞緩和と JR 岸辺駅北側に整備された北駅前広場へのアクセスを目的に、右折レーンを設置し、現道を拡幅することで交通の円滑化を図る。</p> <p>【目的②：交通安全対策】 現道の市道岸部中内本町線は歩道が狭隘であり、交通事故が多数発生している。また、当地区は吹田市のバリアフリー基本構想の重点整備地区に位置づけられており、バリアフリーに配慮した自転車歩行者道を整備することにより、安全・快適な歩行空間を形成する。</p> <p>【目的③：防災対策】 府道大阪高槻京都線は、災害時には、救急、救命、緊急物資の輸送、復旧、復興などの役割を担う広域緊急交通路に指定されている。本路線の整備により、防災道路のネットワークが形成され、地域の防災力の強化につながる。</p>																								
内容	道路拡幅工 延長 L = 262m 幅員 W = 34m 右折レーン設置 N = 1 箇所																								
事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>費用（億円）</th> <th>備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>9.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">内訳</td> <td>調査費等</td> <td>0.2</td> <td>測量費及び設計委託費</td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td>6.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償費</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>0.8</td> <td>街路築造工事及び舗装工事</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>0.4</td> <td>旅費・庁費・人件費・雑費等</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業費の積算根拠】 予備設計により、線形、断面等を設定し、数量を算出。事業費は積み上げにより算出。</p> <p>【工事費の内訳】 街路築造工事 約 0.4 億円 舗装工事 約 0.4 億円</p>				費用（億円）	備	事業費	9.3		内訳	調査費等	0.2	測量費及び設計委託費	用地費	6.3		補償費	1.6		工事費	0.8	街路築造工事及び舗装工事	事務費	0.4	旅費・庁費・人件費・雑費等
	費用（億円）	備																							
事業費	9.3																								
内訳	調査費等	0.2	測量費及び設計委託費																						
	用地費	6.3																							
	補償費	1.6																							
	工事費	0.8	街路築造工事及び舗装工事																						
	事務費	0.4	旅費・庁費・人件費・雑費等																						

事業費の変動要因	【今後の事業費変動要因の予測】 用地補償費の算定については、概算額で計上しており、具体的には今後、詳細な調査により確定することから、事業費が変動する可能性がある。								
維持管理費	約 130 万円／年（大阪府内の主要地方道における道路維持管理実績の 5 年間の 平均値：500 万円／km・年）								
関連事業	独立行政法人 都市再生機構 施行 吹田操車場跡地土地区画整理事業 ・施行面積＝約 22.1ha、平成 27 年度末換地処分予定								
上位計画等における位置付け	大阪府都市整備中期計画（案）平成 24 年 3 月 街路事業（吹田操車場跡地開発関連）として位置付け								
事業をめぐる社会経済情勢等	<p>○周辺地域の状況 吹田操車場跡地土地区画整理事業では、「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の創出をコンセプトに居住機能も付加した持続可能で先進的な環境都市モデルとなるまちづくりが平成 21 年度より進められており、平成 24 年度には、岸部駅が橋上駅化され、駅北側に交通広場が供用している。また、平成 25 年度からは街区開発が進められる計画となっており、平成 27 年度末には換地処分が予定されている。</p> <p>○現道の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>実施日</th> <th>交通量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹田市道岸部中内本町線 （吹田市岸部中 4 丁目）</td> <td>平成 23 年 5 月 25 日</td> <td>11,252 台／12h</td> </tr> </tbody> </table> <p>○交通事故発生件数 49 件（平成 20 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日までの 4 年間）</p>			路線名	実施日	交通量	吹田市道岸部中内本町線 （吹田市岸部中 4 丁目）	平成 23 年 5 月 25 日	11,252 台／12h
路線名	実施日	交通量							
吹田市道岸部中内本町線 （吹田市岸部中 4 丁目）	平成 23 年 5 月 25 日	11,252 台／12h							
地元の協力体制等	地元市から早期の整備要望がなされており、府市が協力して進める。								
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	<p>【効果項目】 ○走行時間短縮 ○走行経費減少 ○交通事故減少</p> <p>当該区間の費用便益分析 【分析結果】 $B/C = 4.1$ $B = 35.8$ 億円 $C = 8.7$ 億円</p> <p>【算出方法】 国道交通省「費用便益マニュアル（平成 20 年 11 月）」により算出 ※総便益及び総費用は基準年（平成 24 年）における現在価値で算出している。 社会的割引率は年 4%、供用開始は平成 30 年、費用便益の算定期間は供用開始から 50 年としている。 ※総費用＝事業費＋維持管理費</p> <p>【受益者】 地域住民・道路利用者</p>								

定性的分析	<p>[効果項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅への交通利便性の向上 ・ バリアフリー基準に沿った歩道の整備 ・ 交通事故減少 ・ 災害時の防災機能向上
事業段階ごとの進捗予定と効果	<p>【事業スケジュール（案）】</p> <p>平成25年度 事業認可取得</p> <p>平成25年度～平成26年度 用地測量</p> <p>平成26年度～平成28年度 用地買収</p> <p>平成28年度～平成29年度 街路築造工事</p> <p>平成29年度 供用開始予定</p>
完成予定年度	平成29年度
代替手法との比較検討	<p>○歩道拡幅及び右折レーンの設置</p> <p>都市計画道路豊中岸部線は広域的な幹線道路として都市計画決定されているため、部分的な改良は困難であり、将来計画との整合を図り、都市計画幅員で整備する。</p>
自然環境等への影響とその対策	<p>○自然環境…本事業は、既存市街地を通過する道路であり、植樹帯の整備により緑を創出する。</p> <p>○騒音…広幅員の歩道や植樹帯の整備により、発生源からの減衰が大きくなる。さらに、低騒音の舗装の採用により低減効果が期待できる。</p> <p>○振動…広幅員の歩道を整備することにより、発生源からの減衰が大きくなる。また、道路を適切に維持管理し、舗装等の状態を良好に保つことにより振動の影響を軽減できる。</p> <p>○大気汚染…渋滞緩和による排気ガス等の低減効果も期待されることから、影響は少ない。</p>
その他特記事項	

対応方針	<p>事業実施</p> <p><判断の理由></p> <p>本路線の整備により、交通の円滑化、交通安全性の向上、防災力の強化が図れることから、事業を実施する。</p>
------	---

